

2013年8月10日

関係各位

公益社団法人 認知症の人と家族の会
長崎県支部 代表 長尾 一雄
(公印省略)

9月21日は 世界アルツハイマーデー (2013年度)

世界アルツハイマーデー

【 (認知症) に つ い て 考 え る 日 】

◆本年度の世界アルツハイマーデーの標語

【 忘れても、心は生きている 認知症 】

全国一斉行動に ご協力と ご支援を お願いいたします

国際アルツハイマー病協会 (ADI) は、1994年の国際会議で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー「認知症」について考える日」と決めました。

(公益社団法人) 認知症の人と家族の会<日本アルツハイマー病協会>も、この国際会議に加入し、世界の人々と共に手を取り合って、認知症について正しい理解とより添う心で、「認知症になつても安心して暮らせる社会の実現を目指して」活動を展開しております。

◆長崎県支部では、別記のとおり、街頭活動並びに講演会を行います。

つきましては、平素、格別のご指導を賜っております関係の皆様方には、それぞれの職場や地域で認知症についてご支援を賜りますとともに、当日はお誘い合わせのうえ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

★ 街 頭 活 動

☆街頭活動 * 佐世保地区

日時 平成25年9月21日(土) 11:00～11:40

場所 佐世保市島瀬町アーケード街(島瀬公園前)

(リーフレット配布)

☆街頭活動 * 長崎地区

日時 平成25年9月22日(日) 11:00～11:40

場所 長崎市浜の町アーケード街(元大丸デパート横)

(リーフレット配布)

★ 講 演 会 * 参加費無料

☆講演会 * 日時 平成25年9月7日(土) 14:00～16:00

会場 もりまちハートセンター2階(研修室)

講師 宮川由香先生(認知症疾患医療センター・相談員)

演題 ～地域とのつながりを育みながら～

【 認知症の理解について 】

☆講演会 * 日時 平成25年9月13日(金) 13:30～16:30

会場 大村市総合福祉センター1階(大会議室)

講師 宮川由香先生(認知症疾患医療センター・相談員)

演題 【 地域ケアのあり方について 】

*介護家族がケアマネージャーに望むこと(グループ討議)

◆ 家族の会事務局開設日・電話(来所)相談

毎週 火・金曜日 午前10:00～午後4:00

長崎県総合福祉センター・県棟4階(長崎市茂里町3-24)

【 認知症介護支援センター 】

電話/FAX 095-842-3590

開設日以外・電話/FAX 0957-25-5806(長尾)



“認知症”は、
人ごとではありません

わが国の認知症高齢者は**462万人**
に上ることが、厚生労働省研究班の
調査でわかりました。

四国4県と
島根県の人口の
合計数とほぼ同じ

462万人

※高齢者の7人に1人

“認知症”のことを知ってください

認知症には、アルツハイマー病、レビー小体型認知症などたくさんの病気があります。

病気によって少しずつ症状が異なるのですが、共通する診断基準は、仕事や生活に支障があること、以前と比べ実行機能が低下していること、精神障害がないことなどです。

現在では残念ながら完治しない病気ですが、早期に診断されれば適切な医療やケアで進行を抑えることができます。

しかし、生活に支障が出るため日常的な支援が必要になり、介護する家族は気が休まらず心身ともに疲れてしまいます。また、認知症の本人は「家族に迷惑をかけたくない」と苦しんでいます。そんな家族や本人にとって、社会的な支援だけでなく、親戚、友人、地域住民である、あなたの理解と支えがとても大切なのです。

認知症のこと、考えませんか。

あなただからできることがあります。

困っている人をみたら声をかけて

ご近所や街中で、行きたい場所がわからなくて困っている人がいたら、笑顔で優しく声をかけてください。不安な時、助けてほしいのは、だれでも同じです。

身近にも介護に苦しんでいる人はきっといます

寄り添ってあげてください。介護者は、親身になって話を聞いてもらうだけで癒されます。

地域の“居場所”づくりに協力を

本人や家族が集い、本音で話せる“居場所”づくりが広がっています。場所の提供やスタッフとしての手助けなど理解ある協力が必要です。

あなたにも役立つ認知症の知識

本やインターネット、映画など認知症のことを知っていただくための情報源は身近にあります。

相談窓口を紹介してあげてください

お住まいの地域包括支援センターや「家族の会」など相談できるところがあります。

認知症の電話相談「家族の会」（京都本部）

認知症の電話相談  **0120-294-456** (10:00～15:00) (土日祝を除く)

このマップを見かけたら、
遠くまで送ってください。



つといて楽しく過ごす若年期認知症の妻と寄りそう夫（神奈川）



認知症支援に取り組むサポーター（千葉）



多くの参加者が集まる認知症の講演会（京都）

安心して暮らせる社会の実現には、社会保障の充実も必要です

私たちは、人としておたがいに励ましあい助けあって、認知症になっても介護者になっても安心して暮らしたいと考えて、そのための活動を進めています。しかし、それだけではどうにもならないときもあります。

そのため「家族の会」は結成のときから、介護を家族まかせにせず社会的に支える“介護の社会化”を願ってきました。介護保険制度の始まりはその願いの実現の第一歩でした。

しかし、いま、消費税を増税する一方で、負担を引き上げ軽度者を介護保険の対象からはずす方向の話がすすめられています。これでは認知症の人も介護する家族も安心して暮らすことができなくなります。

個人が支え合うことと同時に、介護保険や社会保障の充実も欠かすことはできません。

家族の会  総会
アピール

増税の一方で負担引上げ・給付抑制は道理にも合わない 予算の使い道に知恵を絞ろう
(全文はHPで)